

運転者の呼吸・脈拍

シートベルトで検知

メデイカル
プロジェクト 非接触センサー開発

【札幌】メデイカルプロジェクト（静岡市葵区、森典昭社長、054・252・1141）は、車のシートベルトに装着し、運転者の呼吸や脈拍の状況を検知できるセンサーを開発した。呼吸や脈拍から体調異常や居眠りなどを推測可能。警報や自動ブレーキなどと組み合わせることで事故防止に役立つ。自動車や自動車部品メーカーでの採用を目指す。



シートベルトに装着し、運転者の呼吸や脈拍の状況を検知する

事故防止に一役

運転手の呼吸や脈拍に伴う微小な動きを空圧センサーが検知し、呼吸数と脈拍数、体の動きを出力できる。路面の振動などによるノ

イズを除き出力結果が路面状況の影響を受けにくくした。センサーの開発にあたり、北海道立総合研究機構工業試験場の技術指導を受

けた。脈拍と呼吸の状況から、運転者の体調異常や居眠りなどを推定できる。脈拍や呼吸が遅くなったり早くなったりなどの異常を検知した際、警報や自動ブレーキなどと連動できる

ようにすれば、事故を未然に防ぐことが可能になる。センサーの検知部分はシートベルトへの取り付け場所別に3タイプを開発、用途により選択できる。自動車メーカーと自動車部品メーカーに、評価

用の製品を販売し、試験を実施している。

最近、高齢者など

運転中の体調異常が原因となる交通事故が顕

在化。また居眠り運転

での事故も多発してい

る。これまで運転者の

異常をカメラで検知す

る製品はあるが、非接

触で呼吸や脈拍を検知

するセンサーはないと

いう。